

第15回 (2015年度) 佐治敬三賞受賞!

「DUOうたほぎリサイタル2015-春夏秋冬-」

国内で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」(公益財団法人サントリー芸術財団)。2015年12月に公演された「DUOうたほぎリサイタル2015-春夏秋冬-」が第15回(2015年度)受賞公演に選ばれました。

Masumi Yoshikawa +
Norio Sato

うたほぎ

ソプラノ 吉川真澄

ギター 佐藤紀雄



DUO うたほぎ

リサイタル - 春夏秋冬 -

贈賞理由

吉川真澄と佐藤紀雄による「DUOうたほぎ」のリサイタル「春夏秋冬」は、対象と誠実に向かい合う姿勢がすみずみに至るまで感じられる、潤いに満たされたコンサートであった。軸になったのは、平野一郎の近作、女声独唱のための《春の歌》《夏の歌》《秋の歌》《冬の歌》で、このうち《冬の歌》が初演。これらの作品は、季節の自然に満ちる声音を特殊発声やボディ・ランゲージをも用いる無伴奏音楽曲としたものであるが、どの曲も原初への独創的な探究を踏まえており、太古の霊的な響きがいま呼び覚まされるような趣がある。吉川はその襲に深く入りこみ、巫女のようなひたむきさでその霊性を表現して、会場を一種宗教的な感動に包んだ。曲に

よってはよりたくましい解釈もありうるだろうが、全体が美しさをもってまとめられたのは特筆される。

佐藤は武満、バスケス、ヘンツェ、間宮の作品を演奏し、1台のギターからアンサンブル顔負けの多彩な表現力を引き出して、貫禄を示した。4つの平野作品をギター曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲をはさんでつないでゆく流れはよく考えられており、最後をダウランドの《来たれ、深い眠りよ》で締めくくる効果も卓抜であった。歌とギターとのコラボレーションが入念に行われ、ピアノ伴奏では得られない世界が開かれていたことも高く評価したい。外国語がセンテンスとして伝えられるようには彫塑されておらず、平坦な「歌詞」のように聞こえたこと、それもある歴史をさかのぼる歌曲に掘り下げが不足したことは今後の課題として指摘しておきたいが、佐治敬三賞にふさわしい、まれに見る秀逸なコンサートであった。

SUNTORY

ニュースリリースより抜粋

<http://www.suntory.co.jp/news/article/sfa0010.html>

公演概要

DUO ソプラノ 吉川真澄 ギター 佐藤紀雄

うたほぎ

リサイタル - 春夏秋冬 -

12.17 Thu.

東京オペラシティ 3F 近江楽堂

12.23 Wed.

京都バロックザール 京都青山音楽記念館

※公演は終了しています。

演奏曲目

武満 徹/「ギターのための12の歌」より 早春賦
平野一郎/春の歌~女声独唱の為の~
フランチェスコ・パオロ・トスティ/四月
ステファノ・ドナウディ/どうか吹いておくれ
ジョアキーノ・ロッシーニ/フィレンツェの花売り娘
武満 徹/「ギターのための12の歌」より ロンドンテリーの歌
武満 徹/「ギターのための12の歌」より サマータイム
平野一郎/夏の歌~女声独唱の為の~
平野一郎/秋の歌~女声独唱の為の~
エベルト・バスケス/落葉の時間
ハンス・ヴェルナー・ヘンツェ/「ヘルダーリンの三つの断章」より 明るい青空に
ハンス・ヴェルナー・ヘンツェ/「三つのテントス」より トランキイラメンテ
フランツ・シューベルト/「ミニヨン」より そのままの姿でいさせてください
間宮芳生/「三つの聖詞」より アレグレット・トランキイロ
平野一郎/冬の歌~女声独唱の為の~ (初演)
ジョン・ダウランド/来たれ、深い眠りよ

主催・企画・構成・出演: DUOうたほぎ 吉川真澄(ソプラノ) 佐藤紀雄(ギター)
協力: 平野一郎

第15回佐治敬三賞受賞を受けて

ギタリスト・佐藤紀雄氏と初めて共演した2003年、作曲家・平野一郎氏と出会ったのも2003年。この間、それぞれと様々な形で共演、協同を重ねてきました。

佐藤氏とはオリジナル、編曲物含めバラエティに富んだプログラムで各地で演奏を重ね、ジパングレーベルよりCD『POP SONG』『うたほぎ vol.1』をリリースしました。平野氏とは強烈な出会いとなったモノオペラ「邪宗門」から始まり、今回のコンサートの軸となった女声独唱の為の四季の連作へと繋がりました。

第15回佐治敬三賞を受賞した「DUO うたほぎリサイタル 2015-春夏秋冬」はこの12年間に蒔いた種が一気に発芽したようなプログラムになったと思います。そしてそれが多くの方に響いた事、とても嬉しく思っています。

この受賞をきっかけにDUO うたほぎや平野氏との協同を、もっと知っていただける機会が増える事を願っております。来たる5月8日には佐藤氏が主宰するアンサンブル・ノマドの定期演奏会にて平野氏の新作「龍を踏む者」を歌います。12月には京都府宮津にてDUO うたほぎコンサート2016を予定しております。

また年内にCD『うたほぎ vol.2』をリリースする予定ですので、こちらもどうぞ宜しくお願いします。

佐藤氏、平野氏はもちろん、ジパング社長横田さん、POP SONG制作時から公私共にお世話になっている高木さん、大阪から東京に出

てくる時背中を押してくれた菌田さん、西村さん、「吉川真澄を育てる会」の皆様、おひとりおひとりのお名前は書ききれませんが、いつもお世話になっている先生方、応援して下さる方、演奏会に毎回お運びくださる方、来れずとも気にかけて下さる方、CDを買って下さった方、いままでご縁いただいたすべての方、そして故郷の岸和田と家族に感謝の気持ちで一杯です。

まだまだやりたい事だらけ。ひとつずつ、実現できるように精進しますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します！

吉川真澄 2016.03.23



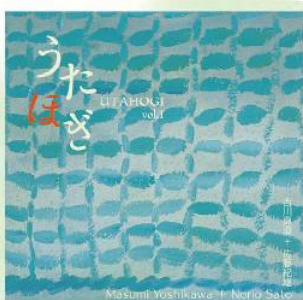
Norio Sato 佐藤紀雄 ギター

1951年生まれ。71年現東京国際ギターコンクール優勝。ギター演奏においてはクラシックレパートリーの他、武満徹、高橋悠治、近藤譲、松平頼暁、福士則夫、その他多くの現代作品の初演、また指揮者としても内外の新しい作品の初演を含め数多く手がける。海外からの招聘も多く、これまでにパリ、ニューヨーク、ハンブルク、ロンドン、メルボルン、北京、メキシコ、デンマーク、フィンランド、エストニア、ブルッセル、アントワープ、ハバナ、イタリアなどでリサイタルや各地のアンサンブルと共演してきた。97年、アンサンブル・ノマドを結成し、音楽監督として毎年定期演奏会を開いてきた。またアンサンブル・ノマドでも海外から多く招かれ、ハッダースフィールド音楽祭、ガウデアムス音楽週間、モレリア音楽祭など主要な音楽祭で演奏してきた。CDではギターソロ作品、アンサンブル・ノマド作品など多数リリースしている。
アンサンブル・ノマド 公式サイト <http://www.ensemble-nomad.com/>



Masumi Yoshikawa 吉川真澄 ソプラノ

岸和田生まれ。桐田中万美子、松本美和子、木村俊光、平山美智子の各氏に師事。これまでにオペラ「ポポイ」(間宮芳生作曲)、モノオペラ「邪宗門」(平野一郎作曲)世界初演をはじめ多くの新作初演に携わり、サントリーサマーフェスティバルやアンサンブルノマド定期演奏会に度々出演し、現代音楽の分野で目覚ましく活躍。日仏現代音楽協会会員。2009年に般若佳子(vla)、菊地奈緒子(箏)と共に「オトナトリオ」を結成、2011年に作曲家・演奏家・美術家によるユニット「音色工房」に参加。2012年に柏木麻里(詩人)大須賀かおり(pf)と童謡ユニット「KOHAKU(コハク)」を結成(2016年解散)。極めて個性豊かな活動を展開している。第7回松方音楽賞大賞受賞。平成16年度文化庁国内芸術インターンシップ研修生。
吉川真澄 公式サイト <http://www.masumi-yoshikawa.jp/>



ZIP-0049/¥1,000 (2014.8.8)

うたほぎ vol.1

- 1 海 編曲: Momo
- 2 待ちぼうけ 編曲: 米倉香織
- 3 ていんさぐぬ花 編曲: G.Taccani
- 4 りんごのひとりごと 編曲: 夏田昌和
- 5 まいまい 編曲: 佐藤紀雄
- 6 シャボン玉 編曲: 渡辺裕紀子
- 7 風 編曲: 米倉香織
- 8 朧月夜 編曲: 渡辺裕紀子



ZIP-0037/¥2,667 (2010.8.13)

武満徹 POP SONG

01. 昨日のしみ
 02. 島へ
 03. 恋のかくれんぼ
 04. Wainscot Pond-after a painting by Cornelia Foss
 05. 見えないこども
 06. ぼつねん
 07. ワルツ
 08. Rosedale
 09. うたうだけ
 10. 小さな空
 11. ○と△の歌
 12. Muir Woods
 13. めぐり逢い
 14. 翼
 15. さようなら
- 編曲: 渡辺裕紀子 (M01 M02 M06 M07 M10 M11 M13 M14)
田中やよい (M03) Momo (M05 M09) 鷹羽弘晃 (M15)